

オロシティーニュース

組合理念

この地を愛し 共に繁栄

一、共に努力し助け合い 相互に発展します

二、組合活動を通じて地域の活性化に貢献します

三、資産を有効活用し 経営基盤の強化を目指します

発行人 〒891-0123
鹿児島市卸本町 6 番地 12
鹿児島総合卸商業団地協同組合
理事長 小正芳史

TEL(099)260-2111・FAX(099)260-2109
(E-mail) info@orocity.or.jp
(URL) http://www.orocity.or.jp



鹿児島実業高等学校書道部のパフォーマンス 第38回オロシティー夏まつり大会 関連記事は2ページ

オロシティーニュース 令和6年11月号 目次

- | | | | |
|---------|--|---------|---------------------------------|
| 1~3 ページ | 第38回オロシティー夏まつり大会 | 5~6 ページ | 代表者会ゴルフコンペ開催 |
| 3 ページ | 第39回オロシティー夏まつり大会日程決定 | 6~7 ページ | 集団健康診断開催
いきいき健康講座開催
委員会報告 |
| 3~4 ページ | 「映画007は二度死ぬ
鹿児島ロケ地の魅力を世界に発信」イベント開催 | 7 ページ | 事務局からのお知らせ
組合行事予定
編集後記 |
| 4 ページ | オロシティー代表者会及び金融機関協力会開催 | | |
| 5 ページ | 今別府英樹理事 熊本国税局長納税表彰
第9回卸団地青藍会開催
新規事業プロジェクトチーム発足 | | |



玉利佳久夏まつり大会実行委員長 オープニングセレモニーにて

**第38回
オロシティー夏まつり大会**

恒例の夏行事「オロシティー夏まつり大会」の第38回が8月3日(土)に開催された。この夏まつりは『地域に密着した卸団地づくり』をコンセプトに、地域の活性化や地域貢献を目指し、大きなイベントとして定着している。

今年、「物品販売ゾーン」が33テント(前年31テント)、「飲食ゾーン」が34テント(前年28テント)で合計67テントとなり前年より8テントの増加となった。

オロシティー夏まつりは、主にホール周囲の道路を歩行者天国とし物品販売ゾーンを設け、組合員企業の商品を販売している。お買得な商品をめがけて販売開始前から来場される方が多い。

飲食ゾーンをホール周囲の駐車場に設け、外で飲食できるようにテーブルと椅子を設置している。また、暑さ対策の為、展示場を室内ステージ兼飲食スペースとして開放している。

ステージは野外ステージと室内ステージがあり、どちらも特色あるイベントが行われた。会場周辺に駐車場が少ないため、創価学会鹿兒島文化会館の協力のもと、文化会館の駐車場を夏まつり特設駐車場として利用し、夏まつり会場と特設駐車場の間を20分間隔で結ぶシャトルバスが運行された。

また、今回から卸本町公園内に駐輪場を設置し、来場者の利便性を高めた。

連日の晴天に恵まれ、会場設営などの準備も順調に進行。イベント当日は、前年にも増して多くの来場者で賑わう。16時前から物品販売ゾーンを中心に多くの人で賑わい、18時を過ぎると会場全体が人々で埋め尽くされ、身動きがとりづらくなるほどの盛況となった。



野外ステージでは、17時頃からガールズバンド「すもも」と鹿児島情報高等学校のバンド「キキユウソソボウ」が熱い演奏を披露。その後、オープニングセレモニーが行われ、来賓と組合役員が登場。大会実行委員長の玉利佳久副理事長の開会宣言に続き、大会会長の小正芳史理事長、来賓の濱平浩己 鹿児島市谷山支所長が挨拶。さらに組合歌の斉唱、協賛企業の紹介、オロシティー夢音頭、祝電披露と続いた。

オロシティー夢音頭では、組合員や金融機関の踊り手がステージ



大盛況の物販ブース

オープニングセレモニーに続き、鹿児島実業高等学校書道部が音楽に乗せた書道パフォーマンスを披露し、観客から拍手喝采を受けた。このパフォーマンス作品は9月30日まで当ホールロビーで展示され来館者の目を引いていた。

恒例の鹿児島信用金庫吹奏楽部による演奏は繊細で力強い演奏であった。



前の観客席を囲んで円を描き、組合役員も一緒に踊り、お祭りのスタートを盛り上げた。

輪になって!!オロシティー夢音頭



鹿児島信用金庫 吹奏楽部



鹿児島実業高等学校書道部のパフォーマンス

一方、第1展示場で開催された屋内ステージでは、組合員のサウ



屋内ステージイベント（第1展示場）

JACKドラムスクールによる演奏、当組合員の(株)小園硝子商会の従業員で構成したバンドKONOSASTAによる演奏、サンタフラスタジオによるハワイアンダンスと続いた。

今回の夏まつりの舞台の見どころ、当組合員(株)大阪屋 田中社長のパフォーマンスで、観客を魅了した。その後、喜界島メーラビが島唄を歌い、野外ステージを締めくくった。



納涼会の様子 (第3展示場)

スこまどり保育園児によるお遊戯や地元のダンススタジオ「ゼロスタンス」、「キッズファンク」によるダンスと「吉永フラ・タヒチアダンス」の大人のダンスで、大いに盛り上がった。
同時に、第3展示場では、この夏まつりに協力して頂いた関係先及び組合員を招いて納涼会が開催された。司会は当組合事務局の原田局長が務め、納涼会は来賓25名、組合員26名の合計51名が参加した。



夏まつり会場の路上の様子

第39回オロシティー 夏まつり大会日程決定

10月7日(月)に開催された理事会に於いて、来年度の第39回オロシティー夏まつり大会の日程が令和7年8月2日(土)に決定した。

マルチテラス活性化事業 「映画007は二度死ぬ 鹿児島ロケ地の魅力を世界に発信」イベント開催

9月14日(土) 12時、オロシティーホールにてマルチテラス活

性化事業「映画『007は二度死ぬ』鹿児島ロケ地の魅力を世界に発信」が開催された。



玉利佳久イベント実行委員長(左)・村井慎一氏(右) トークショーの様子

第1展示場では、007シリーズの研究者・コレクター・ブロガーでもある村井慎一氏が東京から鹿児島に来訪し、120名の前で講演を行った。映画『007は二度死ぬ』のロケ地として、新燃岳、島

津重富荘、天保山周辺、秋目など鹿児島島の魅力が紹介された。村井慎一氏は映画の魅力を熱く語り、特に新燃岳でのリトルネリーによる戦闘シーンの撮影エピソードが印象深かった。カメラマンが迫力ある画を撮るためにリトルネリーに接近し、足をほぼ切断する事故が発生。昭和41年のこともあり、切断を余儀なくされたが、カメラマンの涙ながらの懇願により、10時間におよぶ大手術の末、無事に缝合されたという話である。村井氏は様々なエピソードを語り、大勢の前で好きな007について話せることに大興奮だった。
今回のイベントでは同時開催で、マルチテラスでのパネル展と中庭にて007シリーズで登場した同型モデルのボンドカーの展示が行われた。マルチテラスでのパネル展では、映画の撮影に協力していた重富荘や秋目のがんじん荘、コレクターである村井慎一氏や007愛好家組織による100点余りのグッズが展示された。珍しい資料やグッズ、シヨーン・コネリ

1の直筆サインの前でファン同士の交流が盛り上がった。



パネル展の様子（マルチテラス）



ショーン・コネリー直筆のサイン

中庭では、協田商会の協田氏の協力で『ダイヤモンドは永遠に』に登場したマスタングマツハ1、『私を愛したスパイ』のロータスエスプリ、『ゴールデンアイ』の

BMW Z3の3台を展示。小雨が降る中でも撮影する方が多く、エンジン音を聞いた来場者は感嘆の声を上げていた。



ポンドカーの展示（左から ロータスエスプリ マスタングマツハ1 BMW Z3）

台風10号の影響で、鹿児島県南さつま市坊津の007ロケ地として使用された古民家に一部被害が発生。これを受け、地元住民が団体を設立し、古民家を守るためのクラウドファンディングを開始。当組合は007イベントの開催に際し、広告と宣伝を行った。その効果もあり、クラウドファンディングは目標額の350万円を達成。鹿児島島の秋目にある007の聖地は復興への動きを見せている。



クラウドファンディングのチラシ

事務局の感想としてマルチテラス活性化事業の中でも大規模な開催となった今回は、大盛況の中、無事終了することが出来て一安心している。今回のイベントで展示場とマルチテラスの新しい使い方として広く伝えられたのではないだろうかと思う。また次回開催に向けて頑張っていきたい。

オロシティー代表者会及び金融機関協力会開催

9月9日（月）、ホテルレクストン鹿児島にて、組合員31名、商工中金および地元金融機関から9名が参加し、広報研修委員会主催の講演会と代表者会及び金融機関協力会が開催された。講演会のテーマは「事業継続とセキュリティ」であり、(株)南日本情報処理センターの執行役員瀧上和宏氏が17時

30分より講演を行った。オロシティー代表者会及び金融機関協力会では、令和6年春に地域振興等の功績により当組合小正芳史理事長が旭日小綬章を授与された。その祝賀会も兼ねて開催された。

下堂 豊副理事長の音頭のもと参加者全員で組合理念の唱和から始まり、続いて弓場秋信副理事長が小正理事長の受章を祝辞で讃えた。受章した小正理事長からお礼の挨拶があり、弓場副理事長から花束と金一封が贈呈された。



弓場秋信副理事長（左）・小正芳史理事長（右）

下堂 豊副理事長の乾杯の音頭で懇親会が始まり、会は和やかに進

行。その後、各金融機関からの参加者が挨拶を行った。最後には毎回恒例の組合歌斉唱を、玉利佳久副理事長を中心に全員で歌い記念写真を撮影して締めくくられた。

**今別府英樹理事
熊本国税局長納税表彰**

熊本国税局は10月4日、令和6年度納税表彰を発表した。

熊本国税局長納税表彰に当組合理事の今別府英樹氏（今別府産業（株）代表取締役会長）が選ばれた。

表彰式は10月31日に熊本市で開催された。

第9回卸団地青藍会開催

令和6年10月7日（月）12時より、第9回卸団地青藍会が開催された。青藍会メンバーと正副会事務局を含む総勢17名が参加。今回のテーマは部会毎の組合員紹介で、一部会から五部会まで合わせて70社の会社説明が事務局より簡潔に行われた。その後、正副理事長との意見交換が行われ、卸団地青藍会メンバーは各々意見や感想を述べた。



特に多かった感想は、「上（親）から組合の存在は知っていたが、各会社のことを知らなかったため、大変参考になった」というものだった。

卸団地青藍会は、令和7年度より青年部から新たに発足予定。名前の由来は『青は藍より出でて藍より青し』という荀子の言葉に基づいており、「教えを受けた人が教えた人より優れること」を意味する。名前の通り、若い経営者及び後継者が、新しい風を組合に取り込む組織となっている。令和6年

5月1日に開催された会議で「卸団地青藍会」と命名された。

令和5年11月13日に第1回会議がスタートし、今回で第9回目を迎えた。これまでの会議では、活動方針や規約の制定、会員の募集活動が行われており、来年度の総会での承認を目指している。

**新規事業
プロジェクトチーム発足**

当組合は今年度で創立57年を迎えた。60周年を迎える令和9年度に向け、「新規事業の研究・推進・実現化」を目標に、理事や青藍会その他事務局からメンバーが選ばれた。

令和6年8月19日（月）にキックオフ会議が開催され、組合の現状について再確認が行われた。各メンバーから様々な意見が飛び交ったが、本格的な話し合いは次回以降に持ち越された。

メンバーは次の通り。リーダー…小正芳史理事長 サブリーダー…弓場秋信副理事長、下堂蘭豊副理事長、玉利佳久副理事長 メンバー…寶來豊晴理事、今別府英樹

理事、新福大一郎理事、小園洋平青藍会会長、高井章良青藍会副会長、新福晴久青藍会副会長、その他事務局、専門家。

代表者会、ゴルフコンペ開催



10月9日（水）、鹿児島高牧CCにおいて、組合員・金融機関9名が参加し、代表者会ゴルフコンペが開催された。今回は前回より参加者は少なかったが、初参加者が3名加わり、新しい顔ぶれでの大会となった。天候にも恵まれた絶好のゴルフ日和で、白熱した試合が繰り広げられ、親睦を深める一日となった。

集団健康診断開催



10月22日(火)から24日(木)8時から11時まで、オロシティーホール2階会議室にて集団健康診断が実施された。これは毎年開催されているもので、今年は35社338名が受診した。同時に、住友生命の健康相談も行われた。

いきいき健康講座開催

10月23日(水)、オロシティーホール第2展示場にて、福利厚生委員会主催のいきいき健康講座が鹿児島徳洲会病院の協力のもと開

催された。参加者は15社26名。この講座は、組合員従業員が参加しやすいよう、お昼12時から昼食後に実施された。



今回は、鹿児島徳洲会病院医事課の西山義一氏を招き、「マイナ保険証のあれこれ」という題で講座が行われた。令和6年12月2日から現行の健康保険証が廃止され、マイナ保険証に移行するという内容で、受講者は真剣に聞き入っていた。次回は12月に予定。

委員会報告

福利厚生委員会

委員長 古川敬信

9月25日(水)、オロシティーホールマルチテラスで委員会が開催された。参加者は事務局を含め11名。議題は「令和6年度上半期事業報告」と「今後の活動」について。事務局から上半期の事業及び収支の報告が行われた後、今後の活動計画が説明された。

10月22日から24日の3日間、集団健康診断を実施。

新たな企画として、鹿児島徳洲会病院と提携して「いきいき健康講座」を下半期に3回程度開催予定。

恒例のバス旅行は「万世特攻平和祈念館&津貫蒸溜所祭り日置・嘉之助蒸溜祭2024バスツアー」を実施することに決定。さらに、来年2月6日にボウリング大会が実施される予定。

広報研修委員会

委員長 玉利佳久

10月21日(月)、オロシティーホールマルチテラスで委員会が開催

された。参加者は事務局を含む11名。事務局から上半期の事業報告及び収支報告が行われた後、今後の実施予定の行事について説明が行われた。

教育指導事業として、中小機構研修「若手リーダーのためのステップアップ講座」(新任管理者向け)が令和7年1月22日から23日の2日間にわたり開催される予定。また、組合員経営層向けのトップセミナーは時期未定で開催される見込みである。

広報事業としては、オロシティーニュースの11月号と新春号を刊行予定、また令和7年に第3回オロシティーフォトコンテストの開催も予定されている。

総務委員会

委員長 弓場秋信

10月22日(火)、オロシティーホール第2展示場で委員会が開催され、事務局を含む13名が参加した。事務局からは上半期の修繕内容および貸会場の利用状況について説明が行われた。

当組合は鹿児島南警察署と「防

犯カメラ記録データ等の情報提供に関する協定」を結んでおり、ホール内の防犯カメラ情報を警察署に提供した事案が2件あったことが報告された。また、鹿児島市防犯カメラ設置補助事業を活用し、各部会に1台ずつ、計5台の路上防犯カメラを設置する計画が説明された。

BCPの説明では、団地周辺の避難場所が紹介され、委員に対して組合に期待する防災対策について意見が求められた。

団地内の清掃について、委員に自社での清掃実情を確認。その結果、事務局として毎週火曜日の清掃は今後もアナウンスしていくが、各社の実情に応じて、週に1回は清掃を行うよう努めていくことになった。

事務局からのお知らせ

○マルチテラス活性化の為、令和6年4月に文化割引制度ができました。ダンスや音楽など文化利用の場合、会場の割引をご利用できます。幅広くご利用できますので、皆さんのご利用をお待ち申し上げます。

上げております。詳しくは組合事務局へお問い合わせください。



マルチテラス
QRコード

○皆様へ当組合主催のイベント等をご案内するため、公式ラインを開設いたしました。様々なイベント情報を直接、受け取れます。是非、お友達登録をお願いいたします。



○当組合の月極駐車場に空きが出ています。第一駐車場（卸本町5-33ニシムタ前）に6台、第六駐車場（卸本町6-20南日本銀行道路向かい側）に3台、第八駐車場（南栄6-1-10京屋跡）に8台の空きがあります。ご利用希望の企業は、当組合事務局（260-2111）までご連絡ください。



組 合 行 事 予 定

○11月

- ・第二部会親睦旅行
（別府市・2〜3日）
- ・第8回理事会
（マルチテラス・5日）
- ・万世特攻平和祈念館&津貫蒸溜所祭り日置・嘉之助蒸溜祭
2024バスツアー（10日）
- ・第五部会忘年会
（鉄板処清たき・15日）
- ・第一部会忘年会
（吾愛人・20日）
- ・未来戦略委員会研修旅行
（長崎市・25〜26日）

○12月

- ・第9回理事会
（マルチテラス・3日）
- ・卸団地ゴールド会秋の例会
（山映・3日）
- ・新規事業プロジェクト会議
（マルチテラス・3日）
- ・卸団地青藍会忘年会
（食のオアシスジーン・9日）
- ・クリスマスパーティー
（山形屋 社交室・14日）

○1月

- ・第10回理事会
（マルチテラス・10日）
- ・第52回年始会
（オロシティーホール
第1展示場・10日）

- ・中小機構研修「若手リーダーのためのステップアップ講座」
（2階会議室・22〜23日）
- 2月
- ・第75回ボウリング大会
（ラウンドワン宇宿・6日）

編集後記

前回発行してから5ヶ月が経ちました。この間、オロシティー夏まつり大会やマルチテラス活性化事業「映画007は二度死ぬ鹿児島ロケ地の魅力を世界に発信」など、様々なイベントが実施されました。

また、令和9年度の60周年に向け、「新規事業の研究・推進・実現化」を目標に新規事業プロジェクトチームも発足し、慌ただしい5ヶ月でした。

下半期も、福利厚生事業のバスツアーやクリスマスパーティー、年始会などイベントが目白押しです。

今後も、組合員の皆様に様々な情報をお届けできるよう努めてまいります。

広報研修委員会

委員長 玉利 佳久